

西に岩木山、東に八甲田山

青森県のほぼ中央に位置し、

古くは城下町として栄えた

津軽の小京都



冬のこみせ通り

日本の道百選「こみせ通り」

藩政時代からいまに残るアーケード状の通路

これほどまとまって現存しているのは全国にも類例がない



2010/9/18・19

第5回B級グルメの祭典

B-1グランプリin厚木

黒石つゆやきそば 第7位

(出店46団体中)

ステージパフォーマンスの様子

— 神奈川県厚木市 —



黒石



小嵐山・中野もみじ山

1803年にとさの弘前藩主 寧親(やすちか)公が京都、嵐山から取り寄せた百種以上の 楓苗を移植。秋の観光名所。



モミー



黒石やきそば・つゆやきそば

戦後まもなく作られ、昭和30年頃には子供のおやつとして10円単位で売られていた。太い平麺が特徴、甘辛いソースの味がくせになる。B-1グランプリでも上位入賞の黒石庶民の味。



つゆヤキソバン



雪田 マサオ

日本一の雪だるまのまち

2002年に31メートルの雪だるまを製作。日本一を達成! 「雪を楽しもう」を合い言葉に市民総参加でつくる総数日本一の雪だるまのまちを目指している。



黒石温泉郷

温湯(ぬるゆ)・落合・板留・青荷からなる温泉郷は古くから湯治場として栄え、400年以上の歴史をもっている。 ※写真は青荷温泉 滝見の湯



おかみ



よさねの横田マン

日本三大流し踊り 黒石よさね

「エッチャホー、エッチャホー」の掛け声で、廻り踊り、組踊り、流し踊りで構成される。3千人もの踊り手による流し踊りもさることながら、時折円を描く廻り踊りは、観客を巻き込んでの乱舞となる。



津軽系こけし発祥の地

故盛秀太郎翁により温湯こけしが作られ、アイヌ模様やダルマ絵、すそ広でふくらんだ胸などの形状は温湯こけしならではの造り。工芸的な美と素朴な色彩が全国的にも高く評価されている。



こけし子



2009年誕生!

黒石の観光地・名所・特産品などをアピールするために地元高校生(黒石商業)が考案したキャラクター。誕生後、市のキャラクターとして祭ポスターなどにも使用されている。また、つゆヤキソバンは市民の協力金から着ぐるみが製作され、イベント等で大活躍している。